

公益財団法人川崎市文化財団 情報誌

KAWASAKI

かわさきアートニュース **ART NEWS**

Vol.277

2019年7月号

MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL 15 YEARS

ホール開館15周年記念事業

フェスタ サマーミュージック KAWASAKI 2019

最響のオーケストラが集う川崎の夏・音楽祭!

15年目の熱響へ!

7.27 sat - 8.12 mon
ミュージザ川崎シンフォニーホール

主催: 川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市の文化財団グループ) 後援: 川崎市教育委員会、公益財団法人日本オーケストラ連盟 ©2019 MUZA KAWASAKI
協賛: A・N・A文化庁文化芸術振興費助成(音楽・芸術文化振興費助成) 協賛事業 | 財団法人日本芸術文化振興会
Q&A協力: 東京交響楽団 藤山和乃(指揮)ハープ奏者: 渡邊真由子(ソルト・ピッコロ奏者): 野沢幸也(ホルン)の奏者 | 多摩学院(ピアノ・チェンバール奏者)

CONTENTS[目次]

- 04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術 市内ギャラリー情報
- 13 | 演劇 アルテリオ小劇場
- 14 | 映画 アルテリオ映像館



THE KAWASAKI FOUNDATION

フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2019

ノット監督は生きて音楽やっているんだっていう 感覚にしてくれるんです

インタビュー／水谷 晃さん(東京交響楽団 コンサートマスター) 取材・文／小室敬幸(音楽ライター)

7月27日(土)に開幕するフェスタサマーミュージックKAWASAKIは、今年で15回目を迎えます。首都圏のオーケストラはもちろんのこと、初登場となる仙台フィルハーモニー管弦楽団に、巨匠ワレリー・ゲルギエフ率いるPMFオーケストラ。更には日本を代表するジャズ・ピアニスト大西順子のトリオに、久々のサマーミュージック登場となる鬼才オルガニストのルドルフ・ルツツまで。わずか半月ちょっとのあいだに、一流の音楽を様々な角度から楽しめる強力ラインナップが今年も揃っています。

今回はサマーミュージックで毎年、川崎市フランチャイズオーケストラとして音楽祭の中心的な役割を果たす東京交響楽団から、コンサートマスター水谷晃さんにこの音楽祭での思い出や、今年の聴きどころなどを伺いました。



東京交響楽団コンサートマスター 水谷晃さん

—サマーミュージックのオープニングコンサートでは、東響のジョナサン・ノット音楽監督がこだわりのプログラムを聴かせてくださることが定着しましたね。ノットさんって、どのようなお人柄の方なのですか？

基本的にすごくテンションが高いです(笑)。ノット監督は子供のように純粋で活発な好奇心をいつももち、ただし子供っぽいところだけではオーケストラをリードすることは出来ないで、その好奇心プラス膨大な勉強量がある方だっている風に思います。

僕は仕事柄、リハーサルの休憩中に話しに行くこともあるんですけど、舞台の上では非常にニコニコしていて情熱的にオケをリードしていても、部屋にノックして入ると頭を抱えている時もあったりするんです。頭を抱えながら何か細かいメモを、本人にしか読めないような字で書いている。それは今の問題点と次の改善点とどうやったら最終的に演奏会で形にしていけるかを一回紙に書き出して、頭の中で再構築しているんです。彼のクレバーな部分を目の当たりにして、特に驚いたのが去年のサマーミュージックでした。



東京交響楽団 音楽監督 ジョナサン・ノット氏



フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2018 東京交響楽団オープニングコンサート

©青柳聡

—あれは、後から追加されたコンロン・ナンカロウによる自動ピアノ曲を室内オーケストラに編曲した作品が演奏され、話題になったプログラムですね。

もともと人間が弾けないから自動演奏ピアノに演奏させたという作品ですよね？ 実際、楽譜を見たら「こんな弾けるわけないじゃん!」とイライラしたほどでした。何が難しいかというアンサンブルするのに頼れるのは自分のパートだけみたいな曲なんです。それぞれのセクションが独自の音楽をやって、それが音響効果としてどう響くかみたいな感じ。しかも、僕は自分が音楽をやっている、その場に起きる感情とかインスピレーションを大事にしたいタイプなんですけれども、それが全く起こらなかった。

ところがリハが始まると、ノット監督は子供みたいにキラキラした目で、笑いながらジェスチャーを交えて複雑なリズムを、とても自然な鼻歌で歌うんです。僕なんかその時期世界が歪んで見えて、真っ直ぐ歩けなかったぐらいなのに(笑)。大混乱でリハが終わってすぐに、監督の部屋で「申し訳ないのですが、監督のスコア(総譜)を貸してくれないでしょうか?」とお願いしたんです。彼の楽譜は、いつも本当に美しく色鉛筆で全部色分けされていて。ノット監督が思い描いた

ことや調べたであろう情報が全部丁寧な字で、細かく書いてあるんです。このスコアを読んで、やっとナンカロウの意図が分かった気がしたんですよ。つまり自動演奏ピアノで演奏して欲しかったんじゃないかと、他に手段がなかっただけなんだと。ナンカロウの心と頭に浮かんだ音楽は、豊かなフレーズがあって歌があって自然な流れなんだってことを監督のスコアを通してナンカロウが教えてくれたんです。

—今年のオープニングには、ナンカロウから影響を受けたリゲティのピアノ協奏曲が控えていますね。

監督の頭のなかには数年越しのビジョンがあるはずなんです。編成もそんなに大きくないですから、いきなりリゲティをやるとみんな震え上がってしまう。だから事前に同じような小さい編成のナンカロウをやっておけば、少しは免疫がついているだろう、と。頭のいい方ですので、それを実現するにはどうしたら良いか、深く考えてらっしゃる上でのことです。

—リゲティのあと、休憩を挟んだ後半はベートーヴェンの交響曲第1番です。ノットさんの古典作品への向き合い方には、どんな特徴を感じますか？

僕個人の感覚なんですけれども、現代音



ノット監督と水谷さんの共演 この公演後、ノット監督は東響音楽監督の任期を一気に2026年まで延長することを決意した。
(2015年9月モーツァルト・マチネ)

楽でも古典でもそんなに差はないと思います。(基本的にいつもその音楽の理にかなった指揮をされる方なんですよ。)現代曲でもオーケストラに上からの圧力をかけてくることはせず、内側にある美しさを表面に出していくことを大事にされる方ですので、そんなに差はないんです。けれどもベートーヴェンとか、みんながよく知っている音楽をやると、よりエモーショナルになる部分ってのはありますよね。

最近ですと、我々はベートーヴェンの交響曲第4番を監督と一緒にやったんですけど、ベートーヴェンってこんなすごいものを書いたんだって思わせてくれるぐらい、監督の指揮棒を通して音楽が我々に語りかけてきてくれました。今、我々は生きて音楽やっているんだなっていう感覚にしてくれるんですよ。

——もうちょっと具体的に言うと、どんな音楽づくりをされていくのでしょうか？

リズムを大事にされていると思いますね。そのリズムの上に乗っているハーモニーを次に大事にされます。旋律は一番最後に本番で自由に動かすんです。しかもノット監督のリズムは、ただ点を打つんではなくて人間の心の揺らぎのように線にできる。そうやって指揮を振ってくれるので、その上に乗っているハーモニーのカラーもリズムによって変えられるんです。そして、そのリズムの変化によって旋律も即興的にしていける。こんなにも自由にいろんな情報はその時間に込められるんだってことを認識させてくれますね。それが古典作品だとより顕著に出るんじゃないかと。今回のベートーヴェンの交響



東京交響楽団桂冠指揮者：秋山和慶氏

©堀田力丸

曲第1番が「今できた!」みたいな感じの演奏になるんだと思います。

——実に楽しみです! 他にも新百合ヶ丘での公演では、東京交響楽団桂冠指揮者の秋山和慶さんが指揮をされますね。

いまの東響があるのは秋山先生のお陰ですからね。誰もが先生と呼んでいます。おこがましい話なんですけれども、僕が最近思っているのは、秋山先生というと凄くカッコリ振られる方で、「秋山先生のキレッキレの指揮」っていう表現をよく耳にしますけれども、僕の感覚ではそのキレッキレの部分が少し丸くなった印象があって。その部分の余地でノット監督と東響が作り出している即興的な要素が加味されているように思います。秋山先生とも本番で、色んなことが起こる余地が増えている感じがするんです。プレイヤーとしてはとても嬉しいです。

——そして今年のフィナーレ公演では、療養明けの尾高忠明さんが指揮を務められます。

残念ながら僕は東響で、まだご一緒していないんです。他のオケでは弾いたことがあるのですが、尾高先生といえば、あの穏やかな口調、人柄からも分かるように何といても紳士ですよ。一度、ご自宅でのお食事にお招きくださったことがあるんです。若い世代のエネルギーも大切にされる方で、その包容力が指揮にも出ているんじゃないでしょうか。お休み明けにショスタコーヴィチというヘビーなプログラムですが、素晴らしい演奏になると思います。

あと、この公演に出演するジャン(・チャク



ピアニスト：ジャン・チャクムル氏

©浜松国際ピアノコンクール

ムル)くんですが、浜松国際ピアノコンクールで優勝した際は本選の伴奏が東響で、僕も乗っていたんです。コンクールは体力的にも精神的にも大変なんですけど、彼はリハーサルの時に登場したときから「ハロ〜♪」という風に、他の方とは全く違うところからやってきて(笑)。自分は音楽したくてたまらなくて、ここにいるんだというような感じのエネルギーが溢れているんですよ。その彼と東響が、また共演できるのはすごく嬉しいことです!

公演情報

Information

東京交響楽団 オープニングコンサート 2019.7.27(土)

15:00開演(14:00開場)

[会場] ミューザ川崎シンフォニーホール

[出演] 指揮: ジョナサン・ノット

(東京交響楽団 音楽監督)

ピアノ: タマラ・ステファノヴィッチ

[曲目] パリー・グレイ: 「ザ・ベスト・オブ・サンダーバード」〜ジョナサン・ノット スペシャル・セレクション(オリジナル・サウンドトラックより)

リゲティ: ピアノ協奏曲

ベートーヴェン: 交響曲 第1番

[料金] S席6,000円、A席4,000円、
B席3,000円

出張サマーミュージザ@しんゆり! 東京交響楽団

2019.8.3(土)

15:00開演(14:15開場)

[会場] 昭和音楽大学

テアトロ・ジューリオ・ショウワ

[出演] 指揮: 秋山和慶

(東京交響楽団 桂冠指揮者)

ヴァイオリン: 戸田弥生

[曲目] ウェバー: 歌劇「オベロン」序曲

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 第1番

ブラームス: 交響曲 第1番

[料金] S席4,000円、A席3,000円、
B席2,000円

東京交響楽団フィナーレコンサート 2019.8.12(月・振休)

15:00開演(11:00開場/11:30~最長13:30
公開リハーサル/14:30本開場)

[会場] ミューザ川崎シンフォニーホール

[出演] 指揮: 尾高忠明

ピアノ: ジャン・チャクムル

(第10回浜松国際ピアノコンクール優勝者)

[曲目] シューマン: ピアノ協奏曲

ショスタコーヴィチ: 交響曲 第5番「革命」

[料金] S席5,000円、A席4,000円、
B席3,000円

※いずれもU25料金(小学生以上25歳以下は各席半額)あり。

※チケットの取り扱い、お問合せ先は6ページをご覧ください。

ミュージザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報



Gulbenkian Música / Márcia Lessa

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集 第148回

リニューアルオープン後初めてとなる名曲全集シリーズは、
ブラームスとドヴォルザークの傑作にじっくり浸るひと時を。

【日時】7月15日(月・祝) 14:00開演

【出演】指揮:ロレンツォ・ヴィオッティ

【曲目】ブラームス:ピアノ四重奏曲 第1番(シェーンベルクによる管弦楽版)
ドヴォルザーク:交響曲 第7番

【チケット】S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円
当日学生券(要問合せ)

天才モーツァルトを知る、1年間
モーツァルト×晩年

モーツァルト・マチネ 第37回

マチネ初登場の沼尻がこだわり抜いたプログラム。
モーツァルトの代表曲から、特に人気の高い晩年の3曲を。

【日時】8月24日(土) 11:00開演

【出演】指揮:沼尻竜典

ソプラノ:森 麻季

管弦楽:東京交響楽団

【曲目】〈オール・モーツァルト・プログラム〉
オペラ『ドン・ジョヴァンニ』より
序曲、アリア「むごい女ですって」
オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』より
序曲、アリア「恋人よ、許してください」
交響曲 第40番 ト短調

【チケット】全席指定 3,500円
U25(小学生~25歳)1,000円



沼尻竜典



森 麻季 ©Yuji Hori



東京交響楽団 ©N.Ikegami

ミュージザ川崎市民交響楽祭2019

【日時】8月25日(日) 14:00開演

【出演】指揮:小森康弘

ナレーター:川崎優季

管弦楽:かわさき市民オーケストラ2019

【曲目】格林カ:歌劇「ルスランとリユドミュラ」序曲
チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」より(語りつき)
チャイコフスキー:交響曲第5番

【チケット】全席自由 1,500円

【お問合せ】川崎市アマチュアオーケストラ連盟
044-955-1953(横須賀)



フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2019

おすすめ公演ピックアップ

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

テレビでもおなじみだった作曲家・芥川也寸志の没後 30 年に、隠れた名作交響曲を再演。ドヴォルザークのソリストにはイタリアの鬼才チェリストを迎え、破格の名演を。マエストロ藤岡の意欲あふれるプログラム！

8月6日(火) 19:00 開演 (18:00 開場)

18:20 ~ 18:40
指揮者による
プレトークあり

指揮：藤岡幸夫 (東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 首席客演指揮者)

チェロ：ジョヴァンニ・ソッリマ

曲目：シベリウス：「レンミンカイネン組曲」から『レンミンカイネンの帰郷』

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 芥川也寸志：交響曲 第1番

チケット：S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000 U25(小学生~25歳)各席種半額



真夏のバッハ IV ルドルフ・ルッツ パイプオルガン・リサイタル

J.S. バッハのスペシャリストであるルッツが、ミュージザに帰ってくる！得意の即興も交え、J.S. バッハが蘇ったかのようなオルガン演奏は、興奮と感銘のひとつとき。盟友ジャズピアニスト佐山雅弘を追悼する演奏も披露。

8月10日(土) 19:00 開演 (18:00 開場)

18:20 ~ 18:40
ロビーコンサート
「オルガン・カフェ」あり

パイプオルガン：ルドルフ・ルッツ

<オール・バッハ・プログラム> 前奏曲とフーガ イ長調 BWV536 「おお、汚れなき神の子羊」BWV656

パッサカリア ハ短調 BWV582 前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552

ルドルフ・ルッツ：佐山雅弘氏に捧げる《虹の彼方に》—J.S. バッハのスタイルによる 他

チケット：全席指定 ¥2,500 U25(小学生~25歳) ¥1,000



出張サマーミュージザ@しんゆり！

会場：昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ
(小田急線「新百合ヶ丘」駅南口下車徒歩4分)

極めつけの名曲名演

ベートーヴェン2大協奏曲



東京交響楽団

8月3日(土)

15:00 開演 (14:15 開場)

流れるような旋律で幕を開けるメンデルスゾーンの協奏曲。ドイツ・ロマン派音楽を代表するブラームスの力強い交響曲。叙情と情熱を秘めた戸田弥生のヴァイオリンと、充実した響きを奏でる秋山&東響の共演で！

指揮：秋山和慶

ヴァイオリン：戸田弥生

曲目：

ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

ブラームス：交響曲 第1番

チケット：S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000

U25(小学生~25歳)各席種半額



©Kinoshita Akira



©Jean Philippe Raibaud



©Marco Borggreve



©Yuji Hori

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

8月10日(土)

15:00 開演 (14:15 開場)

2020年、生誕250年のアニヴァーサリーを前に、ひと足早くベートーヴェンの充実した音楽を堪能。2人の気鋭ソリストとヨーロッパで活躍するマエストロが共演し、新しい世代の音楽を創造する。

指揮：垣内悠希

ヴァイオリン：成田達輝

ピアノ：菊池洋子

曲目：《オール・ベートーヴェン・プログラム》

歌劇「フィデリオ」から序曲

ヴァイオリン協奏曲

ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

チケット：S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000

U25(小学生~25歳)各席種半額

しんゆりセット券 (8/3、8/10の2公演) S¥6,400 A¥4,800

【7/6までの期間限定発売!!】 ※セット券・U25はミュージザ川崎シンフォニーホールでのみの取り扱い。また販売終了日は窓口のみでのお取り扱いです

1 (月) ミューザの日 2019 ウェルカム・コンサート「オーケストラ入門!」 全席指定 大人¥2,000/シニア¥1,500/子ども¥500

3 (水) JFE Presents MUZAランチタイムコンサート 7月 祝祭のハーモニー 全席自由 ¥500

3 (水) JFE Presents MUZAナイトコンサート60 7月 祝祭のハーモニー SS指定席¥2,000/自由席¥1,000

4 (木) 榎本大進xベルリン・バロック・ソリスト ¥11,000 (Sシルバー)¥10,000 (A)¥8,000 (P)¥5,000

6(土)・7(日) ミューザ川崎市民合唱祭 全席自由 入場無料

9 (火) 公演予定

13 (土) ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ 第86回定期演奏会 全席自由¥2,000

14 (日) NTTフィルハーモニー管弦楽団 第45回定期演奏会 全席自由¥1,500

15 (月祝) ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第148回 ¥6,000 (A)¥5,000 (B)¥4,000 (C)¥3,000 当日学生券 ※要問合せ

20 (土) オーケストラHA'MON 第41回定期演奏会 ¥2,000 (A)¥1,500 (B)¥1,000

21 (日) 東京交響楽団 川崎定期演奏会 第70回 ¥10,000 (A)¥8,000 (B)¥5,000 (C)¥4,000

27 (土) 東京交響楽団 オープニングコンサート ノット&東響の挑戦的な開幕宣言! ¥6,000 (A)¥4,000 (B)¥3,000 U25:各席種半額

28 (日) どもフェスタ2019 イッツ・ア・ピアノ・ワールド 子どもたち興奮のNoriko's World 全席指定 大人¥1,500/子ども(4歳~中学3年生)¥500

28 (日) 新日本フィルハーモニー交響楽団 ロシア音楽の2大巨頭を味わい尽くす ¥4,000 (A)¥3,000 (B)¥2,000 U25:各席種半額

29 (月) 東京都交響楽団 名匠のガイドで聴くイタリアン・スログラム ¥6,000 (A)¥4,000 (B)¥3,000 U25:各席種半額

30 (火) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 名ギタリストも参戦のスペイン・スロ ¥4,000 (A)¥3,000 (B)¥2,000 U25:各席種半額

31 (水) 読売日本交響楽団 堪能!ホールが鳴り響く壮大な交響曲 ¥5,000 (A)¥4,000 (B)¥3,000 U25:各席種半額

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージザ川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

「講談de交流」

若手講談師が、日々の稽古で鍛えた話芸を披露します。今、人気再燃中の講談を、心ゆくまでお楽しみください。

日時／7月17日(水)
14時～(開場13時半)

出演者／前座 神田伊織
二つ目 一龍斎貞鏡(ていきょう)

会場／東海道かわさき宿交流館4階

定員／100名(要申込・全席自由)
※申込多数の場合は抽選を行います。

料金／無料

申込方法／往復はがきに、住所・氏名(2名まで申込み可・その場合はそれぞれの氏名をお書き下さい)・電話番号・「講談希望」と明記の上、〒210-0001 川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館まで。

申込締切／7月6日(土)必着



神田伊織



一龍斎貞鏡

街道シリーズ 第22回講演会 「川崎・中原街道の歴史」

江戸時代、脇往還であった中原街道。しかし道としての歴史は古く、古代にまで遡るともいわれています。

今回は江戸時代の武蔵小杉地域を中心に、その歴史と役割を探ります。

日時／7月20日(土)
14時～(開場13時半)

講師／望月一樹
(神奈川県立歴史博物館 学芸部長)

定員／100名(全席自由)

料金／無料



展示 宿場時代の川崎[2階]

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示 江戸から現代へ[3階]

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、
JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2019 レポート



今年で開催11回目となった地域で芸術を創り、育てる総合芸術祭。アルテリッカとは、イタリア語のarte(芸術)とricca(豊かな)を合わせた「豊かな芸術」という意味の造語です。4/20～5/12の期間中、新百合ヶ丘駅周辺9会場で、ジャンルを超えた全31演目40公演が行われました。

公演Pick up

◆昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ

藤原歌劇団公演「蝶々夫人」

G.プッチーニ作曲 オペラ全2幕
〈字幕付き原語上演〉

日本の様式美溢れる名舞台を、国内初の本格的オペラ団体として創設以来、80年を超える公演活動を行う藤原歌劇団が上演しました。



2019年藤原歌劇団公演「蝶々夫人」より
公益財団法人日本オペラ振興会

オープニング公演
オペラ

初登場

【お客さまの声より】

- 蝶々夫人の最期のシーンがあまりに綺麗で思わず涙しました。
- 演者の皆さんの歌唱に説得力があり、とても聴きごたえがありました。

東京交響楽団と

若き天才ピアニスト・牛田智大の二大名曲



©AP PHOTO CREATIVE

国内外で実力を轟かせる沼尻竜典の指揮と、浜松国際ピアノコンクール第2位及び聴衆賞、ワルシャワ市長賞受賞の若き天才ピアニスト牛田智大の共演。「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番」、交響曲第9番「新世界より」等が演奏されました。

フィナーレ公演
クラシック

【お客さまの声より】

- オーケストラとピアノがこんなにもピッタリ合ったラフマニノフを聴いたのは初めてです！本当に素晴らしい！！
- 選曲も演奏も最高で、令和の幕開けにふさわしい心に残るコンサートでした。

◆川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

山の音楽舎「うたのたね～おながくのはじまり～」

海外でも注目を集める、赤ちゃんが主役のゆったりのにびり楽しめる舞台がアルテリッカに初登場。配慮が必要なお子さんや、障がいのあるお子さんとその保護者の方を対象としたリラックス公演も行われました。



撮影：八木寛人

【お客さまの声より】

- 演者さんとの距離の近さがとても良かったです。
- 子どもが自由に歌や身体を動かすことを楽しみ、大人もまた、子どもたちの作り出す雰囲気を楽しむことができました。

劇団なんじゃもんじゃ「ベッカニコおに」

子ども向け演劇



©Gontz

さねとうあきら作の「べっかんこ顔」の鬼と、目が見えない村の娘・ゆきが登場する、思いやりをテーマにした創作民話を舞台化。多くの登場人物をたった二人の俳優が演じ、歌いました。

【お客さまの声より】

- 人形を使ったすごい演出でした。涙がとまりませんでした。
- 子ども用の席、鬼のイラストが描かれた子供用のアンケートなど、親子で楽しく見られる工夫があり良かったです。

◆麻生市民館 大ホール

能と狂言 人間国宝の競演 ～友枝昭世と山本東次郎の至芸～

二人の人間国宝により、深い人間洞察に基づいた狂言の名曲「月見座頭」と、源氏物語を題材に描かれた能の人氣曲「葵上」が演じられました。歌人・馬場あき子さんによるアフタートークも、能・狂言をより身近に、より深く理解できた大変好評でした。



能「葵上」友枝昭世
©AP PHOTO CREATIVE

毎年大好評
能・狂言

【お客さまの声より】

- 月見座頭では人間の悪意を垣間見え、葵上ではしっかりと美しい御息所に思い感じ入りました。
- 人間国宝お二方の姿、声、素晴らしい演技を堪能できる贅沢な時間となりました。

◆新百合トウェンティワンホール

詩はうたに恋をする 谷川俊太郎+DiVa「詩と音楽のコンサート」

詩人・谷川俊太郎ご本人による詩の朗読と、谷川作品を中心に現代詩を歌うグループDiVaによるコンサート。時折、ピアニストの谷川賢作さんと、俊太郎さん親子の会話が交わされるアットホームな雰囲気でした。



©Gontz

Music Bar

【お客さまの声より】

- 詩と音楽のコラボにより、自分で詩を読むより世界が広がりが感動が増しました。
- 谷川さんが間近で自作の詩を読まれ、文字で読んでいた詩が直接心にしみわたりました。

◆昭和音楽大学 ユリホール

昭和音楽大学音楽芸術運営学科 アートマネジメントコース企画制作演習企画公演vol.1 音彩～マリンバが魅せる無限大の可能性～

アートマネジメントコースの学生が企画制作から営業まで手掛ける、マリンバに焦点を当てた公演。



日本を代表する打楽器奏者・西久保友広のマリンバと打楽器のアンサンブル、アルトサクソフォーンやユーフォニアムとのデュオが演奏されました。

【お客さまの声より】

- 低音から高音まで多彩な音色が一度に聞こえ、様々な風景を連想しました。
- マリンバの音色の可能性も、他の打楽器との組み合わせによるさらなる魅力の広がりも感じました。

関連イベント



©Gontz

アート市 in アルテリッカ

芸術祭の一環として生まれたハンドメイド作家さん達による手作りアート作品のマーケット。アクセサリーや布小物、陶芸、家具、フラワーアレンジメントなどが展示・販売されたほか、大人も子どもも楽しめるワークショップも開催されました。



©Gontz

音も de アルテリッカ

新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ等、屋外で芸術祭を盛り上げるイベント。着ぐるみのキャラクターショーや、学生などによるミニコンサートその他、ユースオリンピックのブレイクダンスで金メダルを獲得した河合来夢さんもチームで登場しました。

運営の裏側

アルテリッカしんゆりは200名以上のアートボランティアの皆さんにより支えられています。おもてなしの心いっぱいのホール運営、駅前インフォメーションセンターや屋外イベント「音もdeアルテリッカ」の運営、着ぐるみパフォーマンス、広報や美術サポートなど様々な分野で活躍しました。



撮影：八木寛人

- 0歳からのコンサートでは大きなバルーンアートが子ども達をお出迎え(左)
- キャラクターショーはいつも子どもたちに大人気(左中)
- 各公演をイメージしたオリジナル缶バッジを多数作成！イベント開催中、スタッフがおそろいで着用しました。図柄はデザインの得意なスタッフが担当しました(右中)
- ボランティア活動の詳細はこちらでご覧になれます
アルテリッカサポートサイト <https://artericca-support.com/>

オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ『口はロボットの口』

台本・演出◎鄭 義信
作曲◎萩 京子



川崎市多摩区が拠点のこんにゃく座 地元公演!

こどもたちと、こどもだったすべてのおとなたちに贈るSFファンタジーオペラ。
パン作りロボット・テトと一緒に「自分にとって大切なもの」を探す旅に出ませんか?

[日時] **2019年7月11日(木)**
19:00開演 18:30開場

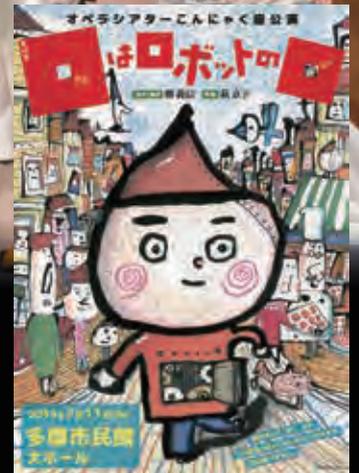
[会場] **多摩市民館・大ホール**

JR南武線登戸駅から徒歩10分。
小田急線向ヶ丘遊園駅北口から徒歩5分。

[出演] テト/金村慎太郎 ココ/飯野薫 エド、ドリトル、ダイヤ/佐藤敏之 ノーマ、ママモンロー/相原智枝
ジーン、花子/沖まどか マニー/武田茂 サファイヤ、シオン/泉篤史 ハロー、ルビー/小田藍乃
ピアノ/服部真理子

[チケット料金] *全席自由 *当日は一人500円増し
おとな/3,000円 こども/2,000円 *高校生まで

[チケット取扱]
オペラシアターこんにゃく座 TEL.044-930-1720
こんにゃく座チケットサイト <http://konnyakuza.tstar.jp>
24時間申込OK! コンビニ、クレジット決済が選べます!



共催◎公益社団法人川崎西法人会 後援◎川崎市、川崎市教育委員、公益財団法人川崎市文化財団 協力◎たまこみ(商栄会コミュニティクラブ)
主催・制作◎オペラシアターこんにゃく座 神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1 TEL.044-930-1720 <http://www.konnyakuza.com>

青の素 第4回公演 「雨上がりには好きだといって」

[日程] **2019年8月2日(金)~4日(日)**

[会場] **ラゾーナ川崎プラザソル**

(〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F)

[チケット] 一般 2,000円/U-22 1,500円/高校生以下 1,000円

[公演スケジュール] ※上演前に学生作・演出による短編の上演、青の素参加者によるポストトーク有

8/2(金) 18:30 **ダーフォの国**
8/3(土) 12:30 **フリューゲルの風**/15:30 **ユウルの箱**/18:30 **ダーフォの国**
8/4(日) 12:30 **フリューゲルの風**/15:30 **ユウルの箱**

[演目紹介] 3月編「フリューゲルの風」 サッカー部の男子たちの、恋と友情の物語。
7月編「ダーフォの国」 日本中が明かりを消して、都会で天の川を見る夜の物語。
10月編「ユウルの箱」 演劇部の女子たちの、恋と友情の物語。

[問合せ] ao@nijinomoto.com

青の素 横浜・川崎の一般公募した青少年で構成された演劇集団。
演劇のワークショップから、企画・運営をし公演という形の発表までを、県内で活動する劇団「虹の素」がトータルサポートする青少年のための演劇公演プロジェクト。



主催◎芸術によるまちづくり・かわさき2019実行委員会/川崎市 共催◎公益財団法人川崎市文化財団/川崎インキュベーター

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

●掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
 ●各施設とも、催し物の内容・会期・時間・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

2019.7

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																	川崎市書道連盟書作展 7月17日(水)~21日(日)			川崎展(絵画・陶芸 他) 7月24日(水)~28日(日)											
	第2展示室	アンデパンダン展 6月25日(火)~7月7日(日) ※1日は休館日						堀野書道学校 第35回書法展 7月9日(火)~14日(日)						書王社選抜展 7月17日(水)~21日(日)						日中子どもの 版画作品展 7月31日(水)~ 8月4日(日)												
	第3展示室																															
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		川崎市総合教育センター 教科用図書展示会 7月4日(木)~10日(水)																														
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)												落描会 作品展 7月5日(金)~10日(水)						川崎市総合教育センター 教科用図書展示会 7月12日(金)~17日(水)※16日は休館日														
ミュージア川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】7月22日(月)																		第22回川崎市フラワーデザイン展 7月14日(日)~15日(月・祝)			東芝未来科学館×ミュージア川崎シンフォニーホール 音と科学の実験室 夏ラボ! 7月30日(火)~8月4日(日)											
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1・2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		中原油絵作品展 6月28日(金)~7月3日(水)			多摩川写真会 写真展 7月5日(金)~10日(水)						第15回中原市民活動の集い 「なかはらっば祭り」展示 7月14日(日)						アトリエ・キューキュー 作品展vol.4 7月20日(土)~23日(火)			十人という作品展 7月26日(金)~31日(水)												
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		有料 なばたとしたか こびとづかんの世界 7月6日(土)~9月8日(日)[2F企画展示室1] 観覧料:一般600円、65歳以上・大学生・高校生450円、中学生以下無料 有料 妖怪/ヒト ファンタジーからリアルへ 7月6日(土)~9月23日(月・祝)[2F企画展示室2] 観覧料:一般200円、65歳以上・大学生・高校生150円、中学生以下無料																														
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		広彩会 水彩画展 6月28日(金)~7月3日(水)			一般社団法人倫理研究所 家庭倫理の会川崎支部 文化展 7月5日(金)~7日(日)						カメカメ元気会 キッズ写真展示会 7月12日(金)~17日(水)※16日は休館日						にが手画塾 水彩画習作展 7月19日(金)~24日(水)			多摩自然写真の会 多摩の自然写真展 7月26日(金)~31日(水)												
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		生涯学習推進課 みやまえ子育てフェスタ 6月29日(土)~7月1日(月)			秀荘会書道作品展 7月5日(金)~10日(水)						宮前区老人クラブ連合会 趣味の作品展 7月12日(金)~15日(月・祝)						川崎市総合教育センター 教科用図書展示会 7月19日(金)~24日(水)			宮前みずえ会 作品展 7月26日(金)~31日(水)												
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		麻生写交会 結成20周年記念写真展 6月28日(金)~7月3日(水)			第5回アトリエ多摩作品展 7月5日(金)~9日(火)																		川崎市総合教育センター 教科用図書展示会 7月26日(金)~31日(水)									
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区栞形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(7月15日は除く)、7月16日(火) 7月1日(月)~12日(金)		有料 岡本太郎美術館20周年記念展 「これまでの企画展みんな見せます!前期/岡本太郎・縄文から現代へ」 7月13日(土)~10月14日(月・祝) 観覧料:一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		青泉会「青泉会書展」 (書道作品) 6月28日(金)~7月3日(水)			麻生市民館サークル連絡会 2019あさおサークル祭美術展(絵画他) 7月5日(金)~10日(水)						パステル画研究会作品展 7月12日(金)~17日(水)※16日は休館日						新百合ヶ丘鉄道模型クラブ 鉄道ジオラマレイアウト 展示と鉄道模型の走行 7月19日(金)~24日(水)			王禅寺パステル画会 パステル画展 7月26日(金)~31日(水)												
パラアート展情報 障害のあるなしに関わらず親しめるアート活動の作品展情報を掲載しています。 情報をお寄せください。 川崎市文化財団 TEL. 272-7366																																

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

＊夏休み期間の土曜日(7月20日・27日、8月3日・10日・17日)は19:00まで開館延長します!

企画展/7月6日(土)~9月8日(日)

なばたとしたか こびとづかんの世界

2006年の刊行以来、多くの人々を惹きつけている、なばたとしたかの「こびとづかん」シリーズ。その原画やスケッチ、フィギュア、映像作品などを紹介し、独自の世界観にせまります。



『こびとづかん』より表紙 ©Toshitaka Nabata

観覧料等

- 会場: 2F企画展示室1
- 観覧料: 一般600円(480円)、65歳以上・大学生・高校生450円(360円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です
- ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

企画展/7月6日(土)~9月23日(月・祝)

妖怪/ヒト ファンタジーからリアルへ



取川国芳(源頼光公館土蜘蛛妖怪図)1843(天保14)年頃 大判錦絵三枚続 川崎市市民ミュージアム蔵

人々の恐怖や畏怖の対象が、妖怪から人間 — ファンタジー(異界)からリアル(現実)になっていく様子を、妖怪関係資料や戦争錦絵など多様な収蔵品からたどります。

観覧料等 「なばたとしたか こびとづかんの世界」の観覧で無料!

- 会場: 2F企画展示室2
- 観覧料: 一般200円(160円)、65歳以上・大学生・高校生150円(120円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です
- ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

映画上映/5月18日(土)~7月14日(日)

岩波映画製作所出身の監督たち

岩波映画製作所は、様々な記録映画を製作し、小川紳介、羽仁進、土本典昭など、その後の日本映画史に名を残す映画作家が集いました。本特集では、岩波映画製作所出身監督の作品を上映します。



『もう類づえはつかない』

上映・料金等

- 料金: 1プログラムにつき 一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円
- ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

【7月の上映作品】

『バルチザン前史』、『水保 患者さんとその世界』、『サード』、『もう類づえはつかない』

※その他、詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.kawasaki-museum.jp/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 FAX.754-4533
 【アクセス】JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
 【開館時間】9:30~17:00(入場は閉館の30分前まで)
 【休館日】月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、翌火曜日休)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

川崎市岡本太郎美術館は7月1日(月)~7月12日(金)まで展示替えのため休館いたします。

企画展/7月13日(土)~10月14日(月・祝)

岡本太郎美術館20周年記念展

「これまでの企画展みんな見せます!」
前期/岡本太郎・縄文から現代へ



岡本太郎撮影(縄文土器)1974年



《太陽の塔》1970年

生前の岡本太郎氏から川崎市が2千点におよぶ主要作品の寄贈を受け、1999年10月30日に岡本太郎美術館が開館し今年で20年を迎えます。開館20周年の記念として、これまでに開催してきた企画展を振り返り、展覧会を象徴する代表作品や資料を抽出し展示する展覧会を前期と後期に分けて紹介します。

前期展では、岡本太郎の多面的な活動の足跡と、縄文土器から民族の源流を探るフィールドワークの旅、そして岡本太郎と関わりの深い同時代の作家を紹介します。

本展を通じて、20年の美術館の様々な展覧会を振り返り、多くの方々と共に共有して美術館への理解を頂くとともに、今後の美術館の更なる役割を見出すきっかけとしたいと考えています。

観覧料等

- 料 金: 7月13日(土)~10月14日(月・祝) 一般1000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料
- ※()内は20名以上の団体料金
- 休館日: 月曜日(7月15日は除く)、7月16日(火)

※常設展は工事のため10月18日(金)まで休室しております。

イベント

◆夏休みの宿題手伝いますツアー

美術館見学が夏休みの課題として出されている中学生のみなさんへ、一緒に館内を回りながら作品をみて太郎さんの思いや考えにふれたら、美術館の役割を知ったりしませんか。

- 日 時: 7月25日(木)、7月26日(金) 10:00~11:00

- 対 象: 中学生
- 場 所: 展示室
- 料 金: 無料
- 申込み: 不要(当日開始時刻までにエントランスにお越しください)



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
 【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
 専修大学前下車徒歩6分
 【開館時間】9:30~17:00(入館16:30まで)
 【休 館 日】月曜日(7月15日は除く)、7月1日(月)~7月12日(金)、7月16日(火)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



川崎市アートセンター kawasaki ART center

アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
お問合せ●川崎市アートセンター 044-955-0107

第72回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

細密・精巧な作風で知られる江戸時代の彫金の名工・^{はまののりゆき}浜野矩随をモデルとした人情噺「浜野矩随」。刀剣の付属品を彫刻する腰元彫りの名人を父にもつ矩随。自らも同じ家業を生業としているが、腕は並以下。そんなある日父が他界してしまう…。講談を元に作られた一途な職人の古典落語を林家たけ平が披露。

2019年7月18日(木)14:00開演※開場は開演の30分前

【出演者】林家たけ平、初音家左橋、春風亭正太郎、林家木はち

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円、2枚セット券3,600円、4枚セット券6,800円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。



林家たけ平



初音家左橋

親子で楽しむ夏時間2019

カラフルパズル



©D. Matvejevas

とんで、まげて、とりかえっこちっちゃなみんなへ贈るカラフルパズルダンス!

この世界は小さなみんなにどう見える? 丸いもの、四角いもの、黄色いもの、青いもの…。ニンジンやトマトのような野菜に見える時もあれば、見たことのないキノコやくだもの、お花に見えたりもします。海のむこうのリトアニアからやってくるダンセマ・ダンス・シアターが、カラフルでいろいろな形をパズルのように使って遊ぶダンスショー! 赤ちゃんから楽しめて、終演後はみんなもいっしょに舞台上でピースを組み立ててあそんじゃおう!! おすすめ年齢:0~3歳、上演時間:約60分

●世界3,000作品が参加するエジンバラフリンジ演劇祭で4つ星を獲得!

●リトアニア文化省最優秀児童青少年演劇作品賞受賞!

2019年7月28日(日) 開場・開演10:30/13:30

【チケット】おやこペア3,000円、おとな2,500円、こども(0歳~中学生)1,000円(全席自由・税込)

※おやこペアはおとな1名+こども1名 ※客席内には靴をぬいでお入り頂きます。

【チケット取扱い】川崎市アートセンター

【web】<http://kawasaki-ac.jp/th/> 【tel】044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

【窓口】9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

※「しんゆり寄席」の学生チケットは窓口のみ取扱い。要学生証提示。

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行なっております。演劇・ミュージカル・ダンス・コンサート・発表会・セミナーなど様々な形態でご利用頂くことができます。基本形式193席の客席を有する舞台に加え、3つの楽屋や工房もございます。詳細はWEB(<http://kawasaki-ac.jp>)または川崎市アートセンター 044-955-0107までお問合せ下さい。



コレット

6.22(土)~7.5(金)

2018年|イギリス・アメリカ|カラー|シネスコ|1h51|DCP|PG12

監督:ウォッシュ・ウェストモアランド

出演:キアラ・ナイトレイ、ドミニク・ウェスト、デニス・ゴフ、フィオナ・ショウ

フランスの片田舎で生まれ育ったコレットは、14歳年上の人気作家ウィリーと結婚し、それまでとは別世界のようなパリへと移り住む。芸術家たちが集うサロンで華やかな生活を送る中、コレットの文才に気づいたウィリーは、自身のゴーストライターとして彼女に小説を書かせる。そうして彼女が執筆した「クロディーヌ」シリーズはベストセラーとなるが、コレットは自分が作者であることを世間に認められない葛藤に苦しめられることになる。



©2017 Colette Film Holdings Ltd / The British Film Institute. All rights reserved.

僕たちは希望という名の列車に乗った

6.22(土)~7.5(金)

2018年|ドイツ|カラー|シネスコ|1h51|DCP|PG12 監督・脚本:ラース・クラウム

出演:レオナルド・ジャイヒャー、トム・グラメンツ、レナ・クレンク、ヨナス・ダスラー

東ドイツの高校に通うテオとクルトは、西ベルリの映画館でハンガリーの民衆蜂起を伝えるニュース映像を見る。自由を求めるハンガリー市民に共感した2人は純粋な哀悼の心から、クラスメイトに呼びかけて2分間の黙祷をするが、ソ連の影響下に置かれた東ドイツでは社会主義国家への反逆とみなされてしまう。人民教育相から1週間以内に首謀者を明らかにするよう宣告された生徒たちは、仲間を密告してエリートとしての道を歩むのか、信念を貫いて大学進学を諦めるのか、人生を左右する重大な選択を迫られる。



©Studioscanal GmbH Julia Terjung ©2018 ZDF/ Logos: akzente, zero one, Studioscanal und Wunderwerk

誰もがそれを知っている

6.29(土)~7.12(金)

2018年|スペイン・フランス・イタリア|カラー|ピスタ|2h13|DCP|PG12

監督:アスガー・ファルハディ 出演:ベネロベ・クルス、ハビエル・バルデム、リカルド・ダリン

アルゼンチンで夫と2人の子どもと暮らすラウラが、妹アナの結婚式に出席するため、故郷スペインの小さな村に子どもたちを連れて帰ってくる。地元でワイン農園を営む幼なじみのパコや家族と再会し、ともに喜ばしい日を迎えるラウラたちだったが、結婚式のアフターパーティのさなか、ラウラの娘イレーネが姿を消してしまう。やがて何者かから巨額の身代金を要求するメールが届き、イレーネが誘拐されたことが判明。それぞれが事件解決のために奔走するなかで、家族の間にも疑心暗鬼が広がり、長年に隠されていた秘密があらわになっていく。



©2018 MEMENTO FILMS PRODUCTION - MORENA FILMS SL - LUCKY RED - FRANCE 3 CINÉMA - UNTITLED FILMS A.I.E.

パリ、嘘つきな恋

6.29(土)~7.12(金)

2018年|フランス|カラー|シネスコ|1h48|DCP

監督:フランク・デュボスク 出演:フランク・デュボスク、アレクサンドラ・ラミー、ジェラルド・ダルモン

パリの大手シューズ代理店に勤めるジョスランは、女性との一時的な関係を繰り返す軽薄なプレイボーイ。ある日、他界した母の家に残されていた母の車椅子に座っていた彼は、偶然その場を訪ねてきた美女ジュリーの気を引くため、自分は車椅子生活を送っていると嘘をついてしまう。そんな彼に、ジュリーは姉のフロランスを紹介する。フロランスは以前事故に遭い車椅子で暮らしているが、バイオリニストとして世界を飛び回りながら、車椅子テニスプレーヤーとしても活躍していた。魅力的なフロランスに惹かれていくジョスランだったが、最初の嘘を引きずったまま、なかなか真実を打ち明けることができず……。



©2018 Gaumont / La Boétie Films / TF1 Films Production / Pour Toi Public

嵐電

7.6(土)~7.19(金)

2019年|日本|カラー|ピスタ|1h54|DCP

監督:鈴木卓爾 脚本:浅利宏 出演:井浦新、大西礼芳、安部聡子、金井浩人

鎌倉からやって来たノンフィクション作家の平岡衛星は、嵐電の線路のそばに部屋を借り、嵐電にまつわる不思議な話の数々取材し始める。そこには、衛星と彼の妻・斗麻子が、かつてこの地で経験した出来事を呼び覚ます目的があった。修学旅行で青森から来た女子学生・北門南天は、電車をスーパー8で撮影する地元の少年・子午線と出会う。一方、太秦撮影所の近くにあるカフェで働く小倉嘉子は、撮影所にランチを届けた際、東京から来た俳優・吉田譜雨に京都弁の指導をすることになるが……。



©Omuro/Migrant Birds/Kyoto University of Art and Design

クリムト エゴン・シーレとウィーン黄金時代

7.6(土)~7.19(金)

2018年|イタリア|カラー|ビスタ|1h30|DCP

監督:ミシュル・マリイ 出演:ロレンツォ・リケルミー、リリー・コール

19世紀末のオーストリア・ウィーンを代表する画家グスタフ・クリムトとエゴン・シーレの没後100年にあわせて製作されたドキュメンタリー。官能的でありながら、常に死の匂いを感じさせる作品を残したグスタフ・クリムト。クリムトから強い影響を受けながらも新たな表現を模索し続けたエゴン・シーレ。19世紀末のウィーンで花開いたサロン文化と、彼らの作品から匂い立つ官能性と愛に満ちた作品群をさまざまな映像群によって俯瞰し、彼らの生きた時代、そして2人の作品の魅力をはじめていく。



©Belvedere, Wien

家へ帰ろう (アンコール上映)

7.13(土)~7.19(金)

2017年|アルゼンチン、スペイン|カラー|シネスコ|1h33|DCP

監督・脚本:パブロ・ソラルス 出演:ミゲル・アンヘル・ソラ、アンヘラ・モリーナ、オルガ・ボラス

ホロコーストを生き抜いたユダヤ人の老人が、70年の時を経て、友人との約束を果たすためにアルゼンチンから故郷ポーランドへ旅する姿を描いたロードムービー。ブエノスアイレスに暮らす88歳の仕立て屋アブラムは、自分を高齢者用の施設に入れようとする子どもたちから逃れ、故郷であるポーランドを目指して旅に出る。そして、その旅には、第2次世界大戦時、ユダヤ人である自分をナチスの手から救ってくれた親友に、自分が仕立てた最後のスーツを渡すという目的があった。



©2016 HERNÁNDEZ y FERNÁNDEZ Producciones cinematográficas S.L., TORNASOL FILMS, S.A RESCATE PRODUCCIONES A.I.E., ZAMPA AUDIOVISUAL, S.L., HADDOCK FILMS, PATAGONIK FILM GROUP S.A

旅のおわり世界のはじまり

7.20(土)~8.2(金)

2019年|日本・ウズベキスタン・カタール|カラー|シネスコ|2h00|DCP

監督・脚本:黒沢清

出演:前田敦子、染谷将太、柄本時生、アディズ・ラジャボフ、加瀬亮

いつか舞台上で歌を歌うことという夢を胸に秘めたテレビ番組レポーターの葉子は、巨大な湖に潜む幻の怪魚を探すという番組制作のため、かつてシルクロードの中心として栄えた地を訪れる。早速、番組収録を始めた葉子たちだったが、思うようにいかない異国の地でのロケに、番組クルーたちもいらいらだちを募らせていく。そんなある日、撮影が終わり、ひとり町に出た葉子は、かすかな歌声に導かれ、美しい装飾の施された劇場に迷い込むが……



©2019「旅のおわり、世界のはじまり」製作委員会/UZBEKIKINO

アマンダと僕

7.20(土)~8.2(金)

2018年|フランス|カラー|ビスタ|1h47|DCP|PG12

監督:ミカエル・アース 出演:ヴァンサン・ラコスト、イゾール・ミュルトリエ、ステイシー・マーティン

パリに暮らす24歳の青年ダヴィッドは、恋人レナと穏やかで幸せな日々を送っていたが、ある日、突然の悲劇で姉のサンドリーヌが帰らぬ人になってしまう。サンドリーヌには7歳の娘アマンダがおり、残されたアマンダの面倒をダヴィッドが見ることになる。仲良しだった姉を亡くした悲しみに加え、7歳の少女の親代わりという重荷を背負ったダヴィッド。一方の幼いアマンダも、まだ母親の死を受け入れることができずにいた。それぞれに深い悲しみを抱える2人だったが、ともに暮らしていくうちに、次第に絆が生まれていく。



©2018 NORD-OUEST FILMS - ARTE FRANCE CINÉMA

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

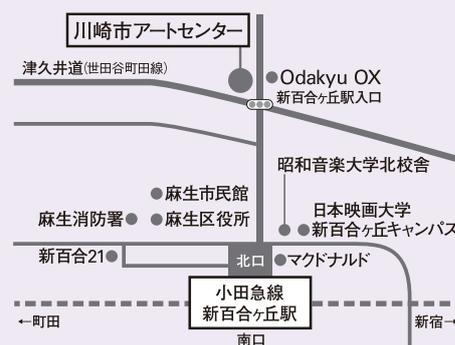
チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引《お一人様1000円!》

- 木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

- 入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)
 - ポイント5つで招待券1枚プレゼント!
 - 同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円~1300円の作品は一律1200円に割引!
- ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月 第三火曜日のお楽しみ 2019 **ラゾーナ寄席**

第85回

2019年

7月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

- 会 場…ラゾーナ川崎プラザソル
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出 演…桂 米福・桂 米多朗・瀧川鯉丸・春雨家晴太
- 入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円
(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



桂 米福

第117回 川崎市定期能

能と狂言

～喜多流～

2019年

8月10日(土)

会 場◆川崎能楽堂

入場料◆各部:4,000円(全席指定)

U25:3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

◆ 能 「頼政」 中村邦生

◆ 仕舞 「鳥追船」 友枝昭世

◆ 狂言 「腰祈」 野村万蔵

◆ 能 「三輪」 香川靖嗣

◆ 狂言 「成上り」 野村万蔵

第一部 十三時開演

第二部 十五時半開演

▲ 能「三輪」香川靖嗣(撮影:山口宏子)

▲ 能「頼政」友枝昭世(撮影:東條睦子)

チケット発売日●2019年7月5日(金)午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

* 残券があれば、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします。

* ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20190810/>

チケット取扱・お問合わせ●川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

[窓口・電話]9:00~17:00(水曜定休日)

主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044(272)7366/FAX.044(544)9647

* 開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。



～川崎市文化財団 公式Twitterをはじめました～

能楽、演劇、パラアート、美術展示等、財団が運営する取り組みについて発信していきます。
フォロー、いいね、リツイートをよろしくお願いいたします。



川崎市文化財団 @kbunkazaidan <https://twitter.com/kbunkazaidan>



公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 <http://www.kbz.or.jp>

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

令和元年7月1日発行

川崎市文化財団 検索

●印刷・製本/八幡印刷㈱ TEL.044-542-2311